

VOICES 声 みんなの

2014(平成26)年4月25日発行 第12号(毎月25日発行)

社会福祉法人
サンフレンズ 地域福祉推進室広報紙

〒167-0023 東京都杉並区上井草 3-33-10

☎ 03-3394-9833 Fax 03-3394-9834

メール hozumi-kaneko@3friends.or.jp

ホームページ <http://www.3friends.or.jp/>



帰ってこいよ2014 サンフレンズ社会福祉士実習生OB ホームカミングデイ
5月24日(土)、8月30日(土) 各日とも16時〜和泉ふれあいの家にて

最新OBの水田さん。この4月に和泉ふれあいの家での実習を終えたばかり…。

サンフレンズ社会福祉士実習生OB会との共催で、『帰ってこいよ2014/実習生OB ホームカミングデイ』を開催します。実習生OBの懇親・情報交換会であるとともに、学校を通じて新年度実習生にも参加を呼びかけます。これから実習する学生さんにとっては、OBとの交流から、実習に関するいろいろなアドバイス、国家試験対策についてのアドバイス、就職についての相談等を受けることができますよ。ぜひご参加あれ！

地域福祉推進室 2013年度事業報告／2014年度事業計画

サンフレンズの本来目的である「住民の視点に立った地域福祉の推進」を企画・実践していく特別機動部署として、2013年5月に創設。地域福祉推進という業務は、法人内だけでなく、地域住民、地域関係機関・団体と連携・協働して進めるべきものであるがゆえ、初年度は、法人外・地域に向けての活動周知、情報交換、関係づくりに努めました。新年度は、1年目につくった足場を起点に、地域との関係をさらに深め、広げていきます。

1. 広報・広聴活動

【継続事業】広報紙『VOICES・みんなの声』の発行／ホームページ、イベント、ヒアリング調査等を組み合わせた、法人と地域の双方向の広報・広聴活動の実践

広報紙『VOICES・みんなの声』を毎月発行。発行部数は毎号おおよそ2100部(法人サービス利用者、地域関係施設・団体に配布)。主な記事としては、事業計画・報告、実習生受入態勢整備プロジェクト、法人事業所の先駆的取組み紹介、施設公開、公開音楽会・大正琴講座予定、家族会予定など。「連載・この人この曲」では、地域住民の活動を取り上げました。公開音楽会等の予定を主目的に定期購読して下さる方が少しずつ増えました。

公開音楽会、大正琴講座、家族会、プロジェクト会議等、活動先では必ず広報紙を配り、地域福祉推進室の活動周知に努めました。一度に終わらず、今後につながるお付き合い、双方向の意見交換に努めました。パブリシティ(PR活動)の効果あって、公開音楽会や大正琴クラブについて、インターネット・ホームページに記事や動画が掲載、年度末のSTO(サンフレンズ大正琴オーケストラ)にはテレビ取材がありました。メディアで紹介していただくことで、活動が広く周知されるだけでなく、実施者・参加者の励みにもなりました。また、本紙読者の方から「地域福祉推進室の活動のために」と、法人に対する寄付金や、中古大正琴等のご寄付をいただきました。11月から法人ホームページに地域福祉

推進室のコーナーを新設して広報紙の掲載を開始するも、活用としてはまだ不十分と考えています。

【新規事業】法人広報の充実に取り組みます。広報（情報発信／情報収集）についての理解を高め、ソーシャルワークの視点から広報活動を行える職員を育成します。具体的には、①対象者・読者のモニタリング、②広報研修の実施、③法人ホームページの在り方の見直しとリニューアル、④情報の発信とメディアの有効活用、に取り組みます。

2. 介護者の会の組織化支援

【継続事業】上井草なでしこの会、和泉ワイワイクラブの支援／杉並介護者応援団、ケア24、社会福祉協議会、先進的な家族会等との連携・協働

サンフレンズが手掛けている上井草および和泉の家族会には、原則毎月参加しました。上井草では、年度初めから参加者ゼロが続いたため、所管のケア24上井草をバックアップする立場で、とくに広報や杉並介護者応援団との関係づくりについて支援しました。新年度は、上井草ふれあいの家に積極的な運営協力を求めたいと考えています。その他、家族会の連絡会、地域交流会、他区の先進的な家族会にも積極的に参加しながら、関係づくりや情報収集に努めました。

3. 地域に向けての芸術・文化の発信と交流

【継続事業】公開音楽会『SONGS・みんなの声』の企画・開催／大正琴公開講座、演奏発表会の開催／音楽ボランティアの开拓／福祉関係機関や団体、町会、老人会、ボランティアとの関係づくり

「施設から地域への文化発信事業」「施設の地域開放運動」と位置付け、法人内外の地域施設・地域団体とのコラボレーション（協働）で、公開音楽会『SONGS・みんなの声』を企画・開催（出張件数155件、法人内7割、法人外3割の内訳）。出張先種別では、通所施設と入所施設を合わせた7割5分が大半でしたが、残る2割5分の施設以外（サロン、ゆうゆう館、自主グループ、老人会、町会、高齢者住宅）から新たに出張要請をいただいたことが成果と考えています。

プログラムや活動発表の場の共有、活動PR、交流等で相互協力し、関わりを拡げることができました。活動を重ねる中で、実施先の事業所と関係が深くなってきたところでは、音楽プログラムのあり方、ボランティアの受入態勢、地域と施設の関係づくりなどについて、12月から意見交換を開始しました。

大正琴では、すでにクラブ活動化していた和泉ふれあいの家を継続支援しながら、新たに法人内の3事業所（永福ふれあいの家、上井草ふれあいの家、上井草園）で大正琴クラブの立ち上げ支援と月1～2回の指導を行ないました（4所計60回程度実施）。よって、大正琴というひとつのテーマで、法人内利用者交流・職員交流が少しずつ始まりました。大正

琴クラブの進め方について等、自らが必ず毎回臨席しなくても大丈夫のように、スタッフに対して、運営のノウハウを伝えました。地域住民を対象にした大正琴講座を3か所（既存の和泉ふれあいの家、8月からふれあいサロン上井草、10月からゆうゆう高円寺東館）で定期開催しました（3所合計で44回実施）。趣味活動を通じて地域の方が集まり、参加者の間で自主的な繋がりができ始め、その方々の声掛けによってさらに新しい仲間が増えています。大正琴クラブ・公開講座では、活動の発表と発信にも力を入れ、2回の出張演奏会、3回のデビューコンサートに加え、3月にはクラブ・公開講座参加者が一堂に会しての合同演奏会（STO＝サンフレンズ大正琴オーケストラ）を2回開催しました。施設利用者も地域の皆さんも、弾く方も聴く方も、演じる側も企画する側も一緒になって、ひとつのイベントをつくり成し遂げる喜びを共有できました。

【新規事業】1年目でできたつながりをさらに深め拡げつつ、つながりが薄い地域の住民・施設・団体との新しいつながりづくりを目指します。具体的には、①利用者と地域住民が一緒になった地域音楽会（芸術祭）の開催、②大正琴「サンフレンズ流」の創設と指導者養成、③法人内事業所における音楽プログラム実施者の養成、ボランティア募集や受入のノウハウづくり、地域との関係づくり等の援助、④団塊の世代向けプログラムの開発、⑤音楽以外の活動の开拓、に取り組みます。

4. 実習生受入態勢の整備

【継続事業】実習受入態勢整備プロジェクトの開催／実習プログラム・実習マニュアルの法人ベース統一／学校との関係づくり／実習生OB会の支援

社会福祉士、介護福祉士、介護等体験、永福学園の4種実習について、それぞれの実習指導職員、学校側の実習担当から成るプロジェクトを立ち上げ、a.各事業所の受入状況の集約と適正な受入環境の提案、b.受入意義の浸透促進、c.実習プログラムと実習受入マニュアルの法人基本版の作成、d.法人内実習指導者講習会立ち上げ準備、e.実習アンケートの実施と評価など、実習受入態勢の整備について検討しました。

和泉ふれあいの家の社会福祉士実習生OB会を継続支援し、2013年度からはサンフレンズ社会福祉士実習生OB会に発展、現役実習生の悩み相談があった際に対応していただくことになりました（2013年度の相談は結果0件）。OB会は4回開催され、同時に現役実習生との交流会・意見交換会が実現しました。

【新規事業】学校や学生と一緒に考え、意見交換しながら、「質の高い実習受入施設」を目指します。具体的には、①法人内実習指導者講習会の開催（社会福祉士実習、介護実習、介護等体験）、②現役実習生とOBの交流の機会としての『社会福祉士実習生OBホームカミングデイ』の開催、に取り組みます。

連載 この人・この曲 ～第10回 村松啓三郎さん「旅の夜風」～

今月のゲストは、『蓄音機コンサート』のボランティア活動で区内を回っていらっしゃる村松啓三郎（けいざぶろう）さんです。

村松さんは、昭和26年、高円寺の生まれ。蓄音機との出会いは、幼いころに家にあった童謡のSP盤。『かわいさかなやさん』『みかんの花咲く丘』『おさるのかごや』などを聴いた記憶があるとのこと。お母さんが歌好きだったそうです。いま使っている蓄音機は当時のものではなく、6年ほど前に古道具屋で偶然見つけて購入されたものとのこと。そういえば、お父さんが機械好き・珍しいもの好きだったらしく、どうやら村松さんは、確実にご両親の遺伝子を受け継いでいらっしゃるようです。

その蓄音機で聴くための流行歌のSP盤が集まってきた頃、地元の老人クラブで、初めて開いた『蓄音機コンサート』。「その中に認知症のお年寄りがいらっしやって、表情もなく座っていたんですよ。ところが、『旅の夜風』の前奏が始まった途端、その方の表情が和らいで、小さい声でしたけれど、確かに口が動き始めたんです。」村松さんはおっしゃいます。「音響の技術が進歩した今の音と比べれば、蓄音機の音っていうのは薄っぺらい音。でも、その当時の人にとっては、雑音混じりのその音から、たくさんの思い出がよみがえってくるんです。耳で聴くのではなく、心で聴く音なんですよ。」



公開音楽会 SONGS みんなの歌・霧島昇特集に特別出演していただきました。（4月1日、上井草ふれあいの家にて）



『旅の夜風』 西條八十作詩 万城目正作曲 霧島昇、ミス・コロムビア歌
この曲を You Tube で聴いてみよう→<http://www.youtube.com/>

花も嵐も 踏み越えて 行くが男の 生きる途
泣いてくれるな ほろほろ鳥よ 月の比叡を 独り行く

優しかの君 ただ独り 発たせまつりし 旅の空
可愛い子供は 女の生命 なぜに淋しい 子守唄

加茂の河原に 秋長けて 肌に夜風が 沁みわたる
男柳が なに泣くものか 風に揺れるは 影ばかり

愛の山河 雲幾重 心ごころを 隔てても
待てば来る来る 愛染かつら やがて芽をふく 春が来る

昭和13年公開の松竹映画『愛染かつら』は爆発的な人気を集め、コロムビアレコードから発売された主題歌『旅の夜風』も大ヒット。80万枚とも120万枚といわれる売り上げを記録しました。当時の蓄音機の台数を考えると、今日の2000万枚ほどに相当する驚異的な大ヒットです。霧島昇とミス・コロムビアの名を全国的に広めるとともに、後に結婚する二人を結びつけるきっかけになった歌でもあります。

最近バイオリンを古道具屋で入手。レパートリーは日々増えつつあるらしい。

『婦人倶楽部』に連載していた『愛染かつら』の映画化が決まった時、原作者の川口松太郎は、この作品を書く上で西條八十の『母の愛』という詩からヒントを得たことから、映画主題歌の歌詞も西條八十が手掛けることを要望しました。その歌詞にメロディーをつけたのが、松竹映画専属の作曲家だった万城目正です。

映画の中では、冒頭を始め、田中絹代演じるヒロインの高石かつ枝が上原謙演じる恋人の津村浩三の後を追って京都へ行くも会うことが出来ず、悄然と京都の町を歩くシーンなどで使われました。なお、このレコードのB面の『悲しき子守唄』（歌：ミス・コロムビア）は、高石かつ枝がステージで歌ったシーンで使われました。いわゆる口パクで、田中絹代は口を動かすだけで、実際にはミス・コロムビアの声流れます。

戦後には、藤原良・高石かつ枝、神戸一郎・青山和子の各コンビでも吹き込まれました。西條八十の原詞の3番では「肌に夜風が沁みるとも」となっていた部分を、霧島昇が「肌に夜風が沁みわたる」と間違ってしまったため、それがそのままレコードとして残りました。戦後、藤原良によって吹き込んだ際に、西條八十の原詞どおりに歌ったところ、「歌詞を間違えている」という抗議がコロムビアに殺到したため、同社はやむを得ず霧島昇版と同じ歌詞で再発売したそうです。

※ホームページ「ウィキペディア」「二木紘三のうた物語」から一部引用させていただきました。

出張公開音楽会『SONGS・みんなの声』のご用命は、☎ 3394-9833 へ

地域施設・地域団体とのコラボレーション(協働)で、出張公開音楽会を随時開催しています。古き良き時代の歌の数々...、歌のエピソードなどを語り合いながら、ギター、ピアノ、アコーディオン等の生伴奏で歌います。歌の好きな方ならどなたでもどうぞ。たくさん歌って、たくさん笑えるひとときですよ。

5月は作曲家・浜口庫之助さん、6月は美空ひばりさん追悼特集。「楽しい声楽」は声楽家・小岩井雅人さんをゲストに迎えての1時間。「ギターで歌おう」では、皆さんからのリクエスト曲を伴奏します。**6月29日(土)、永福ふれあいの家での日本フィルハーモニー出張コンサートが決定。弦楽四重奏を予定しています。**参加ご希望の方は、1週間程度前にそれぞれの会場にお申し込みください。

- 和泉ふれあいの家 (和泉 4-40-31/3321-4808)
 - 5月1日(木) 11:15~「バラが咲いた/浜口庫之助特集」
 - 5月9日(金) 11:15~「小岩井雅人さんの楽しい声楽」
 - 5月14日(水) 11:15~「かあさんの歌/日本の歌百選②」
 - 6月2日(月) 11:15~「靴が鳴る/日本の歌百選③」
 - 6月21日(土) 11:15~「悲しい酒/美空ひばり追悼特集」
- 和泉ふれあいの家 (永福 2-14-20/3327-5811)
 - 5月14日(水) 13:30~「バラが咲いた/浜口庫之助特集」
 - 6月7日(土) 13:30~「悲しい酒/美空ひばり追悼特集」
 - 6月23日(月) 13:30~「小岩井雅人さんの楽しい声楽」
 - 6月29日(土) 11:00~「日本フィル弦楽四重奏」
- 和泉ふれあいの家 (和泉 4-40-31/3321-4808)
 - 5月19日(月) 13:45~「バラが咲いた/浜口庫之助特集」
 - 6月16日(月) 13:45~「悲しい酒/美空ひばり追悼特集」
 - ※デイサービス利用者・見学者のみへの公開になります
- 和泉ふれあいの家 (和泉 4-40-31/3321-4808)
 - 5月3日(土) 13:30~「バラが咲いた/浜口庫之助特集」
 - 6月6日(金) 13:30~「悲しい酒/美空ひばり追悼特集」
- 和泉ふれあいの家 (和泉 4-40-31/3321-4808)
 - 5月7日(水) 13:30~「バラが咲いた/浜口庫之助特集」
 - 6月4日(水) 13:30~「悲しい酒/美空ひばり追悼特集」
- 和泉ふれあいの家 (和泉 4-40-31/3321-4808)
 - 5月10日(土) 14:00~「バラが咲いた/浜口庫之助特集」
 - 6月3日(火) 14:00~「悲しい酒/美空ひばり追悼特集」
- 和泉ふれあいの家 (和泉 4-40-31/3321-4808)
 - 5月12日(月) 14:00~「小岩井雅人さんの楽しい声楽」
 - 5月22日(木) 14:00~「バラが咲いた/浜口庫之助特集」
 - 6月5日(木) 14:00~「悲しい酒/美空ひばり追悼特集」
- 和泉ふれあいの家 (和泉 4-40-31/3321-4808)
 - 5月13日(火) 14:00~「バラが咲いた/浜口庫之助特集」
 - 5月29日(木) 14:00~「かあさんの歌/日本の歌百選②」
 - 6月9日(月) 14:00~「小岩井雅人さんの楽しい声楽」
 - 6月13日(金) 14:00~「悲しい酒/美空ひばり追悼特集」
 - 6月30日(月) 14:00~「靴が鳴る/日本の歌百選③」
- 和泉ふれあいの家 (和泉 4-40-31/3321-4808)
 - 5月23日(金) 14:15~「小岩井雅人さんの楽しい声楽」
 - 6月10日(火) 14:15~「悲しい酒/美空ひばり追悼特集」
- 和泉ふれあいの家 (和泉 4-40-31/3321-4808)
 - 5月24日(土) 13:30~「バラが咲いた/浜口庫之助特集」
 - 6月21日(土) 13:30~「悲しい酒/美空ひばり追悼特集」
- 和泉ふれあいの家 (和泉 4-40-31/3321-4808)
 - 5月27日(火) 11:00~「バラが咲いた/浜口庫之助特集」
 - 6月11日(水) 11:00~「悲しい酒/美空ひばり追悼特集」
- 和泉ふれあいの家 (和泉 4-40-31/3321-4808)
 - 5月30日(金) 12:00~「ギターで歌おう初夏の歌」
 - 6月27日(金) 12:00~「ギターで歌おう雨の歌」
- 和泉ふれあいの家 (和泉 4-40-31/3321-4808)
 - 善福寺サロン (善福寺 3-27-11 サンフレンズ善福寺/5303-0756)
 - 6月20日(金) 14:00~「鈴懸の径/灰田勝彦特集」
 - お問合せ: ケア 24 善福寺 (5311-1024)

大正琴公開講座 5月「夏は来ぬ」/6月「雨降りお月」を弾こう

- 和泉ふれあいの家 (和泉 4-40-31/3321-4808)
 - 5月9日(金)、5月28日(水)、6月11日(水)、6月27日(金)
 - 各日とも 13:30~15:30
 - 以降も月2回(水・金曜日/開催日は事前周知)に実施。
 - 参加費 300円/回
- 和泉ふれあいの家 (和泉 4-40-31/3321-4808)
 - 5月7日(水)、5月21日(水)、6月4日(水)、6月18日(水)
 - 各日とも 10:00~11:30
 - 以降も月2回(第1・3水曜日)に実施。参加費 200円/回
- 和泉ふれあいの家 (和泉 4-40-31/3321-4808)
 - 5月21日(水)、6月18日(水) 各日とも 13:30~15:00
 - 以降も月1回(第3水曜日)に実施。参加費 300円/回

介護者の会 『なでしこの会』『ワイワイクラブ』のお知らせ

なでしこの会 5月27日(火)、6月24日(火) 毎月第4火曜日開催 午後1時30分から3時00分
会場: ケア 24 上井草 (上井草 3-33-10 サンフレンズ上井草内/3396-0024) 参加費: 200円/1回あたり(お茶菓子代)

ワイワイクラブ 5月8日(木)、6月12日(木) 毎月第2木曜日開催 午後1時30分から3時30分
会場: 和泉ふれあいの家 3階会議室 (和泉 4-40-31/3321-4808) 参加費: 200円/1回あたり(お茶菓子代)